

# 補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

83

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	地場産業振興事業費補助金 農林水産関係事業補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	アサリ資源の保護育成のため、アサリ種苗を地先の適地漁場へ放流して増殖を行い、沿岸漁業の振興と漁業者の経営安定を図る。交付先: 西三河漁業協同組合、幡豆漁業協同組合、東幡豆漁業協同組合		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	10,552,500円	10,880,000円	10,880,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	H26	終了年度(予定) H30
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2017/03/23受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		
	※ 検討していない理由		
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以上である
	※ 補助対象経費の額	25,298,200円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)			
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続		
	アサリ資源が激減しているため、市内全漁業協同組合から強い要望があった。今回放流したアサリ種苗の成果としては、前年よりも多く漁場で生息しているのを確認しており、一定の効果があったと考え、引続き事業の継続をするものである。		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

# 補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

83

農林水産課

補助金の名称 （規則・要綱名）	地場産業振興事業費補助金 農林水産関係事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	1 産業振興 活力と魅力あふれる産業づくり
	項による分類	4 農・水産業
	施策内容による分類	2 農・漁業経営環境の強化
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 （可能な限り数値的な目標を記載）	平成26年度 9,072tあった漁獲量が平成29年度は激減し、この水準まで戻したいが、単年では不可能であるため、今年度まずは100tを目指す。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	激減した昨年に比べ、アサリの生息状況は改善傾向にあるが、未だ楽観できる状況ではない。平成30年6月末までの漁獲量の達成率は24%	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られる
⑤補助の恩恵を受ける人（受益者）を記載してください。	市内でアサリ漁業を行う、手三貝協会178人、腰マンガ協会191人、東幡豆漁業協同組合42人、幡豆漁業協同組合3人、計414人を始め、アサリの漁獲量を増やすことで、三河産アサリを消費者へ届けることができる。	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	西三河漁業協同組合、幡豆漁業協同組合、東幡豆漁業協同組合	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	アサリ漁獲量の激減は、漁師数の減少だけでなく、漁業協同組合経営の悪化等影響がある。また、愛知県には、アサリの稚貝が発生する六条干潟があり、稚貝を早期移植し、西尾市の地先で育てることで、アサリの漁獲量の増加を見込む。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	アサリの購入費及び作業船の用船費について、実績報告書と収支報告書の提出を求め、提出書類の審査をしている。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成23年04月01日
	改定年月日（最終）	平成30年04月01日

# 補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

83

農林水産課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	10,552,500円	10,880,000円	10,880,000円	
	補助件数	3件	3件	3件	
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	10,552,500円	10,880,000円	10,880,000円
国庫県費等の名称					

## 補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の用途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
<b>C</b>	<b>C</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	<b>現状維持</b>		アサリ稚貝放流事業等わかりやすい補助金名称にし、補助率も50%にしたほうがよい。アサリ養殖等の研究に対する補助を構築するなど新しい視点の補助が企画できたら良い。			
<b>補助金等検討委員会の主な意見</b>						
9,072tに対して目標100tというのは目標が低すぎないか。						
きれいな海を残すために必要なことは理解するが、アサリだけに補助するというのはどうか。						
県に支援を求めてもよい事業ではないか						